

令和6年度 取組目標

1 校務分掌

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:できなかった

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法	評価	前期の反省・課題
教務	①校務支援システムの活用	・校務支援システムの運用をよりスムーズに行い、効果的な活用ができるよう、各種証明書類の発行等も含めマニュアル整備などを行い、職員のサポートを行う。	4	効果的に活用できたと考える。情報担当者が組織的に対応しており、職員のサポートも迅速に行えた。この体制が引き続き確保できるよう努めたい。
	②読書活動の推進	・「朝の読書」活動を中心とした読書活動を推進し、生徒の図書室利用度を向上させる。	4	各クラスに学級文庫を配置し、「朝の読書」をほぼ毎日実施することができた。図書室の利用人数が増えるような工夫を今後行っていきたい。
	③積極的な学校行事等の情報提供	・学校行事や式典、表彰等について、速やかに報道提供を行う。 ・ICTの積極的な活用を目指す。 ・ホームページを活用した情報発信を充実させる。 ・メール配信を積極的に活用し、必要な情報を家庭に迅速に伝える。	4	昨年より全職員にHP更新の権限を与え、いつでも更新できるように取り組んでいる。学校行事等の各担当が積極的に情報発信ができた。
	④一人一人の教員の授業のスキルアップを図る。	・ICT教材活用実践授業や授業参観を行う。 ・年2回授業評価を行い、次年度への課題発見および解決等につなげる。	4	情報担当が毎学期に研修会を開いており、ICT機器の活用に向けて取り組んでいる。授業評価においてもタブレット端末を用いて行っている職員もいる。
	⑤生徒主体の授業の実践	・教材等や授業展開を工夫することによって、生徒に関心を持たせ、活発かつ円滑な生徒主体の授業（アクティブラーニング）の実現を目指す。	3	来年度より、自前の端末を持った生徒が入学してくるため、ICT機器を積極的に活用している職員が増えている。
進路指導	「希望進路の実現・進路意識の高揚」に向けて以下の項目について実践する。			
	①求人確保	・可能な範囲で企業訪問を行い、求人の確保に努める。	4	ジョブサポートティーチャーを中心に企業訪問を実施し、卒業生の定着率の確認や求人の開拓を行った。
	②各種のガイダンスやHR活動(進路指導関係)の充実	・大学説明会、卒業生講話など各種のガイダンスを計画・実施する。また、生徒の実態にあわせて情報の質・量を精査し、本校生にとってより有効な情報提供をHR活動等を通じて行う。	4	進路オリエンテーションや卒業生を招いての講話、PTAでの保護者対象の講話、ハローワークの求職者専門相談員を招いての講演、就職希望者・進学希望者への準備講習などを計画的に実施した。
	③入試・入社試験対策および面接指導の充実	・進学課外や適性検査対策問題集の学習を通して、入試・入社試験に向けての学力を高める。また、面接対策講座を実施し、その後、複数の教職員で面接練習を実施する。	3	3年のBコースに就職希望者が多数いたことで、進学コースの意味合いが薄れてしまった。進学課外、適性検査対策問題集の学習を計画通りに実施できた。

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法	評価	前期の反省・課題
生徒指導	①『挨拶の励行・服装の整備・時間を守る・清掃をきちんとする』等、基本的生活習慣に対する意識の徹底と確立を図る。	・朝の校門指導を継続して行い、挨拶・遅刻・服装についての指導を行う。教員も積極的に声かけを行う。	3	頭髮、服装の不備のある生徒が一部みられる。指導すれば素直に応じるので継続して指導していきたい。
	②生徒が安全で安心して学べる学校であること。そして、地域の人々からも信頼される学校であるように努めていく。	・いじめや盗難が発生しないように学年団・担任・教育相談部等と連携を図り、未然防止に努める。特にいじめに関しては初期対応に気を付けたい。	2	いじめ、生徒間のトラブルが数件発覚した。対応はしているが今後も継続して経過を注視していかなければいけない状況である。
	③道徳教育を継続し、相手を思いやる気持ちや感謝する気持ちが育めるよう努めていく。	・各種講演会・安全教室を実施し、思いやりの心を育てることと、自己管理能力を向上させる。	4	講演は予定通り開催することができ、有意義な話を聞いた。
人権・同和教育	①生徒の人権感覚を高め、人権課題を主体的に解決していく姿勢を養う。	・（生徒）生徒の感性に訴えるような人権・同和教育ホームルームの教材の作成・内容の更新を行う。人権だよりを発行して、人権意識を高める。	4	各学年の担当教員が、分担して指導案づくりに取り組んでいる。その指導案を基に各担任がクラスの実情に応じてアレンジを加え、人権・同和教育ホームルームを行った。ホームルームで作成した人権詩を東かがわ市人権作品展に応募し、最優秀賞、優秀賞をいただいた。「人権だより」を発行し、文化祭では人権と学校の歴史について人権展を行った。
	②教職員の人権に関する知的理解を深めるとともに、人権感覚を養う。	・（教職員）研究会・現地研修会等の案内を積極的に行い、参加を呼びかける。新転任者や経年経験者研修対象者への研修や、全員を対象とした定期的な研修の実施を行い、人権感覚の養成を図る。第三次取りまとめを参考にして、各教科の授業において人権教育的な視点を取り入れる。	4	現地研修を石田高校と合同で開催し、特に問題となっているインターネット上の差別問題について学ぶことができた。
	③保護者に対する啓発を積極的に行う。	・（保護者）人権だよりを通して、人権啓発を行う。PTA総会で人権講話を行う。研究会・研修会等の案内を積極的に行い、参加を呼びかける。	3	保護者向け人権だよりを発行した。PTA総会での講話を行った。

分掌名	実践目標	具体的な取り組み方法	評価	前期の反省・課題
特別活動	様々な学校行事（集団活動）、部活動を通じて、未来を支える健康・体力・コミュニケーション力を伸ばさせるとともに規範意識・礼節をわきまえた社会に貢献できる人材育成を図る。	・部活動を通しての人間形成と各種大会での上位入賞 部活動での地域貢献活動や、各種大会で上位入賞できるよう指導する。	4	県総体では、柔道部に加え、バレーボール部やソフトテニス部が四国大会に出場することができた。
		・様々な行事に生徒一人ひとりが主体的に参加 体育祭や志度高祭、クラスマッチ等の学校行事において、工夫した企画・運営や、行事において全校生が一致団結・協力し、計画・運営・活動ができるよう指導・サポートする。	4	志度高祭において、全員壁画を実施。各自が積極的に参加できていた。
		・ボランティア活動に自主的に参加できる生徒の育成 ボランティア活動を積極的に推進し、自主的に参加する気持ちを養う。 各クラスにおいてのホームルーム活動時地域清掃活動の取り組み。 各部活動において、地域清掃やボランティアなどの地域貢献の取り組み。	2	積極的にボランティアに参加することができていない。 クラスでの地域清掃については、一部は取り組みができています。 部活動においても、一部の部活動が行えている。
保健・教育相談	生徒や職員の健康に配慮し、元気で活気のある学校づくりを目指す。 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなどの感染症の予防を継続していく。また、熱中症の予防にも努める。	・4～6月、生徒の定期健康診断を行う。 ・各学年において正しい知識を理解させ、関心と責任を持たせる。 （講習会等の実施） ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの予防（検温、手洗い、うがい、手指消毒、喚気等） ・熱中症の予防注意喚起を行う。	4	生徒の健康診断は、計画通り実施できた。保健便りを毎月発行し、生徒の健康意識を高められている。また、全生徒を対象とした性教育、睡眠について、学年ごとの講演会などを実施した。生徒の感想から真剣に自分のこととして捉え考えている様子もうかがえた。感染症で数人が感染し欠席をしていたが、学級閉鎖には至っていない。
		職員の体力・健康維持に努める。職員健康診断の実施	4	職員の健康診断を実施。
	関係者間の連携を密にして、生徒・保護者および問題を持つ生徒に関わる教員のサポートを行う。	担任・生徒に関わりのある教職員・保護者・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー間の連携を密にして、学校内外の情報収集・共有に努め、連携してサポートを行う。	4	入学前の相談希望者には、春休み中や入学式当日までにすべて調整し実施できた。必要と認める生徒には、スクールカウンセラーにも同席してもらった。またスクールカウンセリングには、担任の先生を通して予約確認をし、その後の対応協議もすることで、情報共有を行うことができた。
	相談しやすい雰囲気づくりを心がける。	教育相談便りを発行し、スクールカウンセラー来校の日程等を伝える。学校生活アンケートを実施し、見守りや面談が必要な生徒をピックアップする。	4	教育相談だよりをこれまでに2回発行できた。学校生活アンケートも夏休み明けに実施し、気になる内容については担任と共有できた。

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法	評価	前期の反省・課題
総務	①保護者(PTA)および地域、同窓会との円滑な関係を維持し、教育諸活動において多面的な協力を得られるよう発信する。	・関係各位に学校行事等の通知と積極的参加を呼びかける。	4	学校と同窓会とが連携して様々な取り組みが進められている。PTA評議員さんが積極的に学校行事やPTA行事に参加している。
	②校舎・器具・備品等の丁寧な取扱を意識し、公共物を大切に使用することや整頓することの意識を高揚・定着させる。	・清掃活動や係活動において、その意識を持たせる。	4	生徒たちがよく掃除に取り組んでおり、施設を大切に使用している。

2 学科

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:できなかった

学科名	実践目標	具体的な取り組み方法	評価	前期の反省・課題
商業	専門高校としての特色を出し、社会人・学生として恥ずかしくない人材を育てる。	・ ビジネスマナーの向上。	3	志度高祭での「志度高デパート」や産業教育フェア、鴨庄祭りなどで出店し、商品をすべて完売させるなど、販売実習で成果をあげた。
		・ 検定合格率の向上と高度資格の取得。	3	全体的には、例年通りの合格率であったが、全商簿記実務検定の1級・会計の合格率はあまり芳しくなかった。
		・ 進学先や就職先の充実。	3	ここ数年、就職は好調で、概ね希望通りの会社へ就職が内定している。 進学については、安易に進学先を選択する傾向にあるのが残念である。
電子機械	自らの進路目標を設定し、積極的かつ体系的に検定・資格試験取得に取り組むことを通じて、技術・技能の向上と正しい職業観・人生観を育てる。 知識・技能の基礎・基本を確実に身につけ、卒業後は地域産業界の中心となり活躍できる、人材を育成する。	・ 科目間の横断的学習により、専門的知識・技能の基礎基本を充実させる。	3	科目間の横断的学習の機会を捉え、実習と座学、専門科目間の授業、既に学んだ知識を関連付けた授業を行っている。しかし、生徒によっては知識が蓄えられておらず、上手く関連付けられていない。そこで、まず生徒の理解力の差を埋め、専門的知識・技能の基礎基本を身に付けさせるために、ICT機器の活用、様々な表現を用いた説明、反復等、授業の工夫をしており、機会を捉えて科目間の横断的学習により知識・技能を定着させていく。
		・ 検定・資格取得に自主的かつ積極的に取り組む。	3	技能検定において、授業で学び経験した内容に関する職種に興味を持った生徒の申込数が増えており、尚且つ指導に対しても積極的に取り組んでいる。一方で、資格に挑戦していない生徒については、進路目標とのすり合わせを行い、必要な資格や検定の受験を勧め、全員受験の検定や講習等を確実に合格するよう指導している。
		・ ものづくりを通して、技術・技能の向上と、思考力・発想力を養う。	3	基本技術・技能の定着が十分とは言えず、同一実習において学年進行とともに高度化させる狙いが円滑に進行できていない。繰り返しの学習となるが、前年度に立ち戻り、基礎基本の充実を図っている。また、考えながら取り組み、試行錯誤しながら工夫して技術・技能を向上させようとする姿勢に乏しい。実習や課題研究では、作品デザインや加工方法、作業工程、プログラム等を生徒に考えさせ製作させており、興味を持って失敗しながらも試行錯誤し、取り組んでいる。

学科名	実践目標	具体的な取組み方法	評価	前期の反省・課題
情報科学	高校生として社会に対応できる人間教育を行い、技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒を育てる。	・各学年に応じた課題や実習にICT機器を活用して取り組ませ、生徒が主体的に取り組む姿勢を育成する。	3	各授業でのタブレットの活用が増え、生徒自身もICT機器が特別なものという意識がなくなっている。生徒が主体的にICT機器を活用して授業の中で活かすには、授業のやり方を考えていかなくてはならない。
		・基礎的、基本的な知識や技術・技能を習得させ、資格や検定等にチャレンジさせる。	4	復習や説明に時間をかけて「分かる授業」を心掛けて取り組んでいる。また、授業の中で資格等を紹介し受験を促すとともに、課外での学習を積極的に行っている。
		・就職・進学指導の充実。	3	授業でも自分の進路について早い時期から考えるように意識させている。日頃から個別相談を行い、生徒の進路への意識を高めていく必要がある。

3 学年団

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:できなかった

学年団	実践目標	具体的な取組み方法	評価	前期の反省・課題
3 年 団	進路の実現	・基礎学力の充実をはかる。	3	「SPI・一般常識」等の活用により、ある程度の基礎学力は付けられた。
		・的確な情報提供に努める。	4	進路指導部と担任の先生方など細かく情報を共有することにより、的確な情報を生徒に伝えられた。
		・面接指導を充実させる。	4	担任の先生方を中心に、放課後等の面接練習は活発だった。後期も指導していきたい。
		・進路決定後の生活指導を充実させる。	3	担任の先生方を中心に、生徒指導部とも連携しながらしっかり指導していきたい。
2 年 団	①良好な人間関係の構築	・人を尊重し、思いやる心を育てる。	3	概ね良好だが、人間関係のトラブルも多少はあった。
	②落ち着いた学校生活	・挨拶・服装・清掃・時間厳守の徹底など規範意識を持たせる。	3	概ね良好だが、容易に授業中にトイレで抜ける生徒が多少見られた。
	③学力向上と進路実現への啓発	・検定取得等の高い目標を持ち、計画的に学習する態度を養う。また、新しいことにチャレンジするよう呼びかける。	3	校外模試を受ける者がいたり、積極的に検定の勉強をする者がいたりして、概ね向上心を持って取り組んでいる。更なるチャレンジを期待したい。
1 年 団	①素直な心	・先生や友人、他からの評価を受け入れ自己を理解し改善に努める態度を養う。	3	自己評価が高い生徒が多く、他者からの評価に納得しない場合が多いが、素直に認め努力する生徒もいるので全体として少しずつ良くなってきた。
	②事前行動	・前もって準備をしてゆとりを持って行動するように習慣づける。提出物等も期限内に内容も含めゆとりをもって提出するようにさせる。	3	準備をきちんと行い予習、予定行動をする生徒が少数ではあるがいる。一方ほとんどの生徒が目の前をこなすのに精一杯であり、提出物も遅れがちである。
	③あらゆる場面で何をやるか何のためにやるかどの様に取り組むかを自ら考えて主体となって行動する。	・進路目標を持ち、それを実現するために、何に取り組めば良いかを自ら考え調査したり、助言を求めたりして積極的、計画的に実行する力を身につけさせる。	2	進路に関してはほとんどの生徒が決定を先延ばしにしているが、一部の生徒の中には明確な将来を見据えそれに向かって学習している生徒もいる。